

1. 目的

第2章から第9章までの各分野のとりまとめにより、個々の分野における自然環境の実態および重要性はひとつおりに明らかとなりました。

各分野別の評価図を重ね合わせると、一つの選定対象地またはその周辺地域が複数の分野で選定されている場合も多く見られます。このような場合、その対象地を中心に周辺地域一帯は、総合的にみて生物の多様性に満ちた何らかの質を保有し、連続性の高い自然環境を形成していると考えられます。これらの地域は一つのまとまりをもつ区域として、その土地利用方針を含めて一体的に保全することが望ましいものと考えます。そこで、各分野別の調査結果から宗像市の自然環境を総合評価し、一体的にとり扱う地域のゾーニングを行うとともに、その生態系的特性（価値）を整理することとします。